

基礎情報

No. 101	名称 そうさくだいにじゅうよんれんたいいれいのひ
不明	搜索第二十四聯隊慰靈之碑

建立年月日 1979(昭和54)年2月	改修・移設等歴 —
------------------------	--------------

所在地番 糸満市字真栄平和蘭門原872	座標 26.11180639	地目 原野	地積 (㎡) 1,131.00
------------------------	-------------------	----------	--------------------

規模 (幅M×奥行D×高Hcm) [主碑]全体:208*137*291、碑身:37*26*154/[故将兵之靈碑]碑身64*20*44/[戦没者名記碑]全体:81*25*78/[碑史碑]全体:160*155*169、碑身:76*9*92/[背面箱]全体130*101*66

素材 【主碑】碑身:砂混じりコンクリート+正面貼付け[碑名板:黒御影石磨き仕上]、上台:コンクリート、中台・下台:鉄筋コンクリート造+細粒白黒御影石砕砂利洗出し仕上/[故将兵之靈碑]碑身:黒御影石磨き仕上/[戦没者名記碑]碑身:黒御影石磨き仕上、脚:コンクリート/<聖観音像>【碑史碑】碑身:黒御影石磨き仕上、上台・下台:鉄筋コンクリート造/[五輪塔・燈籠・基壇・背面箱]コンクリート/【囲い】CB
--

建立者 元搜索二十四聯隊山三四七八部隊 陸軍伍長	管理者 不明
-----------------------------	-----------

碑文等

【主碑】
 <前面>搜索二十四聯隊慰靈之碑
 <上台前面>山三四七四部隊/故将兵之靈

【由来記碑】
 <前面>搜索二十四聯隊慰靈之碑史/昭和十九年七月聯隊に動員下令 同年七月十七日駐屯地満州東安省密山を出発 同年八月三日沖繩本島当着讀谷山村字波平に駐屯/波平瀬名波長浜に至る海岸線に陣地構築 同年十二月沖繩防衛作戦変更により聯隊は島尻郡真栄平に異動聯隊本部を真栄平におき大渡より米須に至る海岸線に向い陣地構築同地区の防衛に任するも 昭和二十年四月一日米軍嘉手名より波平に至る海岸線より上陸連日激戦を転向 同年四月二十四日首里防衛戦参加の為聯隊は辨ヶ岳後方大名部落に転進連日棚原西原幸地掛久保宮城方面に出動させ多大な戦果をあげ部隊個人感状数多く受け前田方面への夜襲戦辨ヶ岳での陣地戦と勇戦敢闘せり 同年五月二十九日軍は島尻地区の防衛戦に後退聯隊は師団後退の後衛部隊として最後迄敵と対峙長く任務を達成最後の引上部隊として真栄平陣地に後退同年六月一日配備完了連日斬込隊を敵陣に出動さす 同六月十八日一七五・五高地への夜襲占領習十九日同陣地で聯隊主力をもって激戦を転回六月二十一日真栄平六十六高地陣地に於いて聯隊長以下残余の将兵聯隊長自ら兵の銃を取り敵を激撃全員壮烈な戦死をとげた 聯隊長以下戦没将兵四〇〇名と聯隊と運命を共にした真栄平住民聯隊医務班看護婦炊事班勤務の炊事婦防衛隊員等約二〇〇名の英霊に子々孫々に至る迄慰靈の誠を捧げ二度とあの悲惨な戦争を起してはならない 永遠の世界平和を念じここに象徴の碑を建立した/昭和五十四年二月二十四日/北海道静内軍静内町二丁目三番地/元搜索二十四聯隊山三四七八部隊/生存者 陸軍伍長 渡部満

<隊員名記碑>搜索二十四聯隊山三四七八部隊/[略]

写真

